

第14章 RFK Jr

◆民主党支持者が続々と目覚める

2016年以降、大手メディアがアンチ・トランプのフェイクニュースを流し続け、セレブたちも口を開けば「トランプはヒットラーよりひどい!」、「トランプは人種差別主義者だ!」と、トランプ大統領の悪口を言い続けています。

カバールのサイオプ（心理作戦）が功を奏し、左派の人々は完全に洗脳されきつてしまい、トランプ大統領がいくら真実を伝えようが、左派の耳には届きませんでした。

そこに頼もしい助っ人として登場したのがロバート・ケネディ・ジュニア（以下、RFK Jr）でした。ケネディ大統領の甥のRFK Jrは、コロナウイルスに関する真実（ヒドロキシクロロキンやイベルメクチンがコロナに効く、など）や、ワクチンの危険性を警告した他、「エイズはファウチが作った」、「製薬会社は金儲けのみを目的としている」など、普通の政治家が口にしない真実を訴え続けました。

ヒドロキシクロロキンやイベルメクチンに関しては、トランプ大統領が2020年から「コロナを治療できる」と、国民に知らせていましたが、同じことでもRFK Jrの口から出てくると、左派は急に聞く耳を持つようになりました。

RFK Jrは、大統領選出馬後は、黒人のポッドキャストなどでも積極的にインタビューを行い、Q支持者たちが伝えようとしてきた真実を、次々に暴露して、左派の人々の約半数である伝統的な民主党支持者（ウォウク主義に染まっていない40歳以上の民主党支持者）を大覚醒へと導きました。

以下、RFK Jrがさまざまなインタビューで吐露した真実の中から、特にQ支持者に歓迎されたものをいくつかご紹介しましょう。

まず、黒人のラッパーが司会を務めるポッドキャストで、「貧しい人を援助する代わりに、ウクライナにこれだけの金を送る、と決めたのはいったい誰なのか?」と、質問され、RFK Jrはこう答えました。

「軍産複合体ですよ。ミッチ・マコーネルは、『なぜウクライナに1130億ドルも送るんですか?』と聞かれて、『心配するな。あの金は軍事請負企業に渡るから、みんなアメリカの会社に還元されるんだよ。』と答えました。ミッチ・マコーネルもジョー・バイデンも、ヴィクトリア・ニユーランド、アンソニー・ブリンケンも、みんな軍産複合体の人間です。アメリカは

世界中に800の軍事基地を持っています。CIAの役割は、軍産複合体に絶え間なく戦争を供給することです」

民主党がウクライナを支援していることに関しては、こう言っています。

「昔は民主党は反戦の党でしたが、今では民主党も共和党も戦争を推奨しています。戦争産業からカネをもらった政治家がトップにつく（戦争をする政策を遂行できる）、という仕組みなんです」

オンライン誌、タブレットのインタビューでは、父親（ロバート・ケネディ）の暗殺に関して、こう語っています。

Q：お父さんを殺した発砲者は誰だと思いますか？

A：発砲したのは（セイン・）ユージン・シーザーだと思う。シーザーは警備員で、2日前の晩にこの仕事に就いたばかりでした。彼は父の肘をつかんでいました。彼は父を憎んでいて……

Q：なぜですか？

A：彼はとても人種差別主義者で、父がアメリカを黒人に明け渡そうとしている、と思っていたんです。彼はCIAの職員でもありました。ロッキードで最高機密にアクセスで

きる人物で、彼は警備の仕事に就いたばかりでした。彼が父を待ち伏せの場所に誘導したんですよ。父の肘をつかんで。父はアンバサダー・ホテルの厨房に入つてはいけないことになっていました。

Q：フレッド・ダットンがお父さんを厨房に連れてきた、と、言われていますよね？

A：でもシーザーが玄関で父を迎えて、サーハンが待ち伏せしている場所に誘導して、銃を取り出したんです。彼が銃を取り出すのを見た人が12人います。父は後ろから撃たれていることを、明らかに知っていました。だからこそ振り返って、シーザーのクリップ式のネクタイをつかみ取ったんです。父は倒れた時、そのネクタイをつかんでいました。父はシーザーの上に倒れ、シーザーは父を突き飛ばし、銃を持ったまま立ち上がりました。

後で「なぜ銃を構えていたのですか？」と聞かれたとき、彼は「サーハンを撃つたからだ」と答えましたが、それは違います。

CIAが戦争供給屋で、軍需産業のロッキードと関わりがあるCIAの職員がロバート・ケネディを暗殺した、と断言したRFK Jrのインタビューは、X（ツイッター）やトゥルース・ソーシャル、その他のSNSのプラットフォームでも大きな話題になり、伝統的な民主党支持者たちが続々と目覚めていきました。

こうして、カバールのサイオプに洗脳されてトランプ大統領に拒絶反応を示していた人たちにも、真実が見えるようになったのです。

RFK Jrの出馬直後は、トランプ支持者たちが「大統領候補がトランプ、副大統領候補がRFK Jrという組み合わせだったら、絶対勝てる！」と、希望的観測を抱いていました。そのため、当時は、「トランプ、バイデン、RFK Jrという三つ巴の戦いになった場合、RFK Jrはトランプ支持者の票を奪い、トランプにとって不利になるだろう」と言われていました。

しかし、2023年10月中旬に、RFK Jrが奴隷制度の賠償金を黒人に支払う政策を支持する、と発表した後は、トランプ支持からRFK Jrに鞍替えする人はいなくなりました。

「帰ってきたトランプ大統領」(西森マリー) 2024.4.20